3・4年で習得させたい「物語の読みの観点」

	Faller .
物語の構成	「物語」 ・中心人物が変化するお話
	・中心人物が変化りるや品 「前ばなしの場面」
	・制はなしの物画] ・物語のおおもととなる「時」「場」「人物」の大きな説明の場面
	考 この物語には、前ばなしの場面はある?
	「出来事の展開場面」の小さな場面構成
	考 展開場面は、いくつの小さな場面でできている?
	「中心場面」
	・物語全体の中で、最も大切な場面
	・中心人物の心が最も大きく変わる場面
	「後ばなしの場面」
	・「前ばなしの場面」との対応
	・最も大きな変化のその後が描かれている
「時」の設定	「時」の大きな設定 ・物語作品全体の「時」の把握(前ばなしの場面)
	・物譜作品生体の「時」の指揮(削はなしの場面)
	考 いつの「時」の物語?
「担」の乳中	「場」の大きな設定
「場」の設定	・物語作品全体の「場」の把握(前ばなしの場面)
	「十六」は、「手本」は、
「人物」	「中心人物」「重要人物」 ・「中心人物」=物語全体で、気持ちやその変化が一番詳しく描かれている人物
	心に変容がある
	考 中心人物の気持ちが、どこで、どのようにどうして、大きく変わったのか?
	・「対人物」=中心人物の変容に大きな影響を与える人物
あらすじ	「あらすじ」
	・「あらすじ」=物語の内容を短くまとめた文章
	場面ごとに、大切なこと(時・場・人物)を落とさず一文でまとめる
視点	「だれの目・だれの立場から」 ・どの人物から見たように、他の人物や出来事が描かれているか
	考」「わし・あなた」に代えて読んでみて。
(主題)	「感想」
	・文章を読んで、強く思ったり感じたりしたこと
上記以外の	「暗唱」=物語や詩などを覚えて、声に出して表すこと
	物語をくふうして「音読する」 (「音読」=文章などを声に出して読むこと。)
重要な学習	・場面の様子や人物の気持ちが伝わるように工夫する。
	・声の大きさ、声の高さ、読む速さ、強調するところ、間の取り方に注意する。
	「 民話」 =世界の各地で、長く語り伝えられてきた話
	「脚本」=人物のせりふと場面の様子や人物の動作などを説明する言葉